

事業所名

児童発達支援 トレトレ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

21 日

法人（事業所）理念		「主役は子ども」を理念として、常に主語を「子ども」とし、子どもたちひとりひとりの成長と発達に深く関わり、寄与していく。					
支援方針		ひとりひとりが幸せな生活を送るために必要な資質を、感覚統合理論を生かした実践の中で積み上げ、「身辺自立」「様々な経験の積み重ね」「人と関わる力の構築」などをめざした支援を進めていく。また、子どもたちが遊びの中で様々なことを肌感覚として学ぶことができる環境をつくり上げていく。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康あつての様々な活動であるので、体温測定し、けがの有無などに留意し、自分自身の体調を自分で整えていくことができる力を育てるという観点を持って自律的な健康生活ができるように支援していく。 「服の着脱」「順番を待つ」「姿勢」「あいさつ」「清潔」「トイレトレーニング」など、生活の基盤を整える力を伸ばしていく。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動では大型遊具を使った運動遊びや全身を動かす摸倣遊びなどを行い、姿勢や運動、動作の向上を目指した遊びをしていく。 <大型遊具> 縄梯子、スイング、エアマット、ボールプール、バランスボール、縄跳びなど 微細運動を育むために、おもちゃや道具などを使って遊ぶ。 <おもちゃ> ブロック、積木、粘土、マグフォーマー、クアドリラ <道具> 鉛筆、ハサミ、のり、セロテープなど 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できるあそびを行っていく。 自分の力で作業課題に取り組めるように、お子さんの発達段階に合わせて遊びを用意する。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 季節に関連した遊びや絵本などを通してたくさんの言葉に触れていく。 少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援していく。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いの表出（笑う、泣く、怒る、手差し、指さしなど）に対して、共感したり言葉をかけたりして適切に対応することで他者を信頼する気持ちを育む。 小集団の中で、集団に参加するための手順やルールが理解できるよう支援していく。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの幸福度を上げる手法を学ぶ場（セミナー）を開催する。 家族との連携を密にして、子どもを真ん中に据えて成長と発達を促す支援をしていく。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育園などと必要な情報を共有できる良好な関係を築いていく。 進級、進学など、環境変化に向けて家庭との連絡を深めていく。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 関係する放デイや相談支援専門員の人たちと情報を共有し、連携していく。 ごちゃまぜ運動会や地域でのマルシェなどを主体的に行い、地域連携を進めていく。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長と発達に寄与する実践者としての研修を日々行う。 定期的に職員研修を実施する。 実践の迷いや困りごとをスタッフ間で共有し、方向を一致させる。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> お父さんお母さんふらりの会 先輩ママさん語る会（小学校版・中学校版） 第2次性徴期の性学習会 おやじの会（お父さんの懇談会） おかんの会（お母さんの懇談会） サンサンメゾットセミナー 					